

2026（令和8）年度和歌山支部 保険者機能強化予算（案）について

全国健康保険協会和歌山支部

支部医療費適正化等予算(案)

令和8年度

分野	区分	新規・継続 等の区分	取組名	経費
医療費適正化対策経費	企画部門	①継続	乳幼児医療費の適正化に係る支援事業	1,156,320
				1,157千円
	業務部門			
				0千円
				1,157千円

広報・意見発信経費	紙媒体による広報		3,726千円	
	その他の広報	②継続	県広報誌への広報(県民の友)	822,600
		③継続	WEB動画による広報	2,319,000
		④継続	シネアドの活用による広報	1,089,000
		⑤新規	ポスターによる小学生への啓発事業	550,000
			4,781千円	
		8,507千円		
合計			9,664千円	
予算枠			9,664千円	

【特別枠】

分野	区分	取組名	経費
特別枠			
合計			0千円

令和7年度

分野	区分	新規・継続 等の区分	取組名	経費
医療費適正化対策経費	企画部門	①継続	乳幼児医療費の適正化に係る支援事業	1,003,200
		②新規	健診・レセプトデータを使用した慢性腎臓病の分析	1,100,000
				2,104千円
	業務部門			
				0千円
			2,104千円	

広報・意見発信経費	紙媒体による広報			3,519千円
	その他の広報	③継続	県広報誌への広報(県民の友)	814,000
		④新規	WEB動画による広報	840,000
		⑤継続	広報コラムの作成業務委託	429,000
		⑥継続	シネアドの活用による広報	1,089,000
		⑦新規	立看板によるジェネリック医薬品使用促進広報	869,000
				4,041千円
				7,560千円
合計			9,664千円	
予算枠			9,664千円	

【特別枠】

分野	区分	取組名	経費
特別枠			
合計			0千円

支部保健事業予算(案)

令和8年度

分野	区分		新規・継続等の区分	取組名	経費
健診経費	健診実施機関実地指導旅費		—	—	16,000
	事業者健診の結果データの取得		—	健診機関・事業主によるデータ作成等に要する費用	693,000
		①	継続	事業者健診データ取得にかかる提供依頼書取得勸奨及び健診結果(紙媒体)取得勸奨業務等の外部委託	9,927,500
		小 計			10,621千円
	集団健診	②	継続	協会主催集団健診(特定健診)の実施	5,379,000
		③	継続	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施	1,333,667
		小 計			6,713千円
	健診受診勸奨等経費	④	継続	被保険者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勸奨	2,695,000
		⑤	新規	事業所に対する若年者健診の案内	363,000
		⑥	継続	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	130,020
			継続	令和9年度生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	587,400
			継続	令和8年度特定健診の案内(一斉発送)	1,138,012
		小 計			4,914千円
	健診経費計				22,264千円
保健指導経費	保健指導諸経費		—		
			—		
			—	保健指導用パンフレット作成等経費	220,000
			—	保健指導用事務用品費(測定用機器類等)	100,000
			—	保健指導用図書購入費	50,000
			—	公民館等における特定保健指導	40,000
			—	保健師募集広告経費(支部)	50,000
	保健指導利用勸奨経費	⑦	継続	特定保健指導にかかるリーフレット等の作成	1,001,000
		⑧	継続	検診車における特定保健指導の遠隔面談分割実施	220,000
		⑨	新規	健診機関の施設内における特定保健指導の遠隔分割実施	385,000
小 計				1,606千円	
保健指導経費 計				2,066千円	

令和7年度

分野	区分	新規・継続等の区分	取組名	経費
健診経費	健診実施機関 実地指導旅費	—	—	100,000
	事業者健診の 結果データの 取得	—	健診機関・事業主によるデータ作成等に要する費用	693,000
		継続	事業者健診データ取得にかかる提供依頼書取得 勤奨及び健診結果(紙媒体)取得勤奨業務等の 外部委託	8,525,000
		小 計		9,218千円
	集団健診	継続	協会主催集団健診(特定健診)の実施	8,364,400
		継続	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施	1,650,530
		小 計		10,015千円
	健診受診勤奨等 経費	継続	対象者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勤奨	514,800
		継続	被扶養者に対する個別受診(施設型)の受診勤奨	448,800
		継続	他県に住所を有する対象者への受診勤奨	382,800
		継続	和歌山県医師会との連携による 特定健診受診促進に関する事業	66,000
		—	令和8年度生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	578,600
		—	令和7年度特定健診の案内(一斉発送)	1,220,795
		小 計		3,212千円
		健診経費計		
保健指導経費	保健指導諸経費	—	中間評価時の血液検査費	1,320,000
		—	医師謝金	12,800
		—	保健指導用パンフレット作成等経費	220,000
		—	保健指導用事務用品費(測定用機器類等)	100,000
		—	保健指導用図書購入費	50,000
		—	公民館等における特定保健指導	40,000
		—	保健師募集広告経費(支部)	50,000
	保健指導利用 勤奨経費	継続	特定保健指導にかかるリーフレット等の作成	1,034,000
		継続	検診車遠隔面談	220,000
小 計			1,254千円	
保健指導経費 計			3,047千円	

重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	⑩	継続	未治療者に対する受診勧奨(二次勧奨経費)	233,276
		⑪	継続	未治療者に対する受診勧奨(健診機関0次勧奨)	550,000
		小 計			784千円
	重症化予防対策	⑫	—	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	2,508
			—	—	
		小 計			3千円
	重症化予防事業経費 計				787千円
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	⑬	継続	健康宣言事業所情報提供サポート事業	1,286,659
		⑭	継続	健康宣言事業所健康づくりサポート事業	2,012,744
		⑮	継続	健康経営促進セミナーの実施	259,600
		小 計			3,560千円
	コラボヘルス事業経費 計				3,560千円
	その他の経費	その他の保健事業	⑯	継続	歯科健診とのコラボによる特定保健指導の開催
⑰			継続	リバウンド防止対策啓発事業	233,200
⑱			継続	家庭血圧測定の普及啓発	493,900
⑲			継続	わかやま健康フェア会場での特定保健指導の実施	96,162
㉔			新規	特定保健指導対象者への運動セミナーの開催	349,688
小 計			1,477千円		
保健事業実施計画アドバイザー経費			—	—	90,400
その他の経費 計				1,568千円	
合計					30,245千円
予算枠					30,245千円

【特別枠】

分野	区分	取組名		経費
特別枠				
合計				0千円

重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	継続	未治療者に対する受診勧奨(二次勧奨経費)	19,960
		継続	未治療者に対する受診勧奨(健診機関0次勧奨)	550,000
		小 計		570千円
	重症化予防対策	—	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	5,360
		小 計		6千円
重症化予防事業経費 計				576千円
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	継続	健康宣言事業所情報提供サポート事業	1,312,410
		継続	健康宣言事業所健康づくりサポート事業	1,487,384
		継続	健康経営促進セミナーの実施	259,600
		小 計		3,060千円
	コラボヘルス事業経費 計			
その他の経費	その他の保健事業	継続	歯科健診とのコラボによる特定保健指導の開催	303,050
		継続	リバウンド防止対策啓発事業	121,000
		新規	家庭血圧測定の普及啓発	401,533
		新規	2025わかやま健康フェア会場での特定保健指導の実施	97,390
		小 計		923千円
	保健事業実施計画アドバイザー経費	—	—	90,400
	その他の経費 計			
合計				30,242千円
予算枠				30,245千円

【特別枠】

分野	区分	取組名	経費
特別枠	事業者健診データ取得	特定健診未受診者に対する事業者健診結果の提出勧奨	1,364,000
	健診受診勧奨等経費	労働局との連名による定期健診実施勧奨	275,000
合計			1,639千円

令和8年度新規事業案

<支部医療費適正化等予算>

2. 広報意見発信経費

事業名	5	ポスターによる小学生への啓発事業	550,000円
実施概要	協会けんぽのSDGsに資する取組として、小学生への健康教育に取り組んでいるが、その一環として、健康保険の啓発にかかるポスターを作成し、県内小学校(231校)に掲示を行うもの。 作成の際には、和歌山県、保険者協議会と連携し、教育委員会に働きかけていく。 印刷製本費等		

<支部保健事業強化予算>

1. 健診経費

事業名	5	事業所に対する若年者健診の案内	363,000円
実施概要	当年度において若年層(20歳、25歳、30歳)の被保険者を有する事業所あてに、新たに開始する一般健診(若年)について受診案内を送付し、新制度の周知を図る。 委託費		

2. 保健指導経費

事業名	9	健診機関の施設内における特定保健指導の遠隔分割実施	385,000円
実施概要	特定保健指導を実施できる体制がない健診機関において、健診当日に遠隔面談による特定保健指導体制をつくることにより、特定保健指導利用者の拡大を図る。 委託費		

4. その他の経費

事業名	20	特定保健指導対象者への運動セミナーの開催	349,688円
実施概要	特定保健指導参加者の運動の取り組み促進を目的に、健康運動指導士による運動セミナーを開催する。 自宅でできるストレッチや筋力トレーニングの方法やウォーキングの歩き方などのセミナーと、インボディ測定や、AI歩行解析、姿勢チェックなどの測定を行い、運動の動機付けを行う。 印刷製本費、賃借料、委託費、リース・レンタル費		

令和8年度継続事業案

<支部医療費適正化等予算>

1. 医療費適正化対策経費

事業名	1	乳幼児医療費の適正化に係る支援事業	1,156,320円
実施概要	<p>乳幼児医療費(0～4歳)は、5～30歳の一人当たり医療費に比べ高い状況となっている。その要因として乳幼児の発熱や泣き止まない状況時等に、親が原因を特定できず心配のあまり、まず医療機関を受診することで安心感を得ようとするのが原因の一つと考えられる。</p> <p>そのような不安を少しでも軽減できるツールとして、0歳児の被保険者に対し、医療機関にかかるまでの対応を示した書籍(紙)を配布し、乳幼児医療費の適正化に資する事業としたい。</p> <p>委託費</p>		

2. 広報・意見発信経費

事業名	納入告知書同封チラシの作成	事業名	事業案内用カレンダーの作成
作成物	<p>納入告知書同封チラシによる事業広報。</p> <p>1,913,010円</p>	作成物	<p>協会けんぽ事業を掲載した卓上カレンダーの作成。</p> <p>健保委員、関係機関に配付。</p> <p>1,081,080円</p>
事業名	インセンティブ制度チラシの作成	事業名	健康経営ニュースの作成
作成物	<p>インセンティブ制度周知のチラシの作成。</p> <p>177,650円</p>	作成物	<p>健康宣言事業所に対する広報チラシの作成。</p> <p>554,400円</p>
事業名	2	県広報誌への広報(県民の友)	822,600円
実施概要	<p>和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。</p> <p>広告宣伝費、印刷製本費</p>		

事業名	3	WEB動画による広報	2,319,000円
実施概要	<p>昨今、デジタル媒体の視聴者が増えていることより、WEB動画を作成・配信することにより協会けんぽ事業の案内・周知・情報提供を図る。</p> <p>和歌山支部の課題として、健康経営優良法人の認定数が同規模支部と比較して少ないことから、健康経営推進の広報を行い、健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定数を増やしていきたい。</p> <p>また、本部が作成する健診体系の見直し動画を配信する。</p> <p>広告宣伝費</p>		
事業名	4	シネアートの活用による広報	1,089,000円
実施概要	<p>県内の映画館にて、映画上映前に放映する広報にて協会けんぽの事業を紹介し、映画鑑賞者の協会けんぽ事業への理解度向上を図る。</p> <p>映画放映前の広報については、映画鑑賞者が画面を集中して見ることから、広報内容が他の広報媒体と比べ取り込まれやすいことが利点と考える。</p> <p>和歌山支部の課題として、健康経営優良法人の認定数が同規模支部と比較して少ないことから、健康経営推進の広報を行い、健康宣言事業所数、健康経営優良法人認定数を増やしていきたい。</p> <p>委託費</p>		

<支部保健事業強化予算>

事業名	1	事業者健診データ取得にかかる提供依頼書取得勧奨及び健診結果(紙媒体)取得勧奨業務等の外部委託	9,927,500円
実施概要	<p>事業者健診データ取得業務については、事業所から「健診機関を通じて健診結果データを提供する旨の提供依頼書」を取得する業務や、健診機関からデータでの取得ができなかった場合はあらためて事業所へ説明のうえ紙媒体により健診結果を取得しデータ化する必要があるなど、事務作業が非常に複雑で煩雑となっており、それらを全面的に外部委託することで、効率よく業務を進める。</p> <p>委託費</p>		
事業名	2	協会主催集団健診(特定健診)の実施	5,379,000円
実施概要	<p>対象者が多い地域を中心に、自己負担無料の協会主催集団健診(特定健診)を実施する。</p> <p>(予定対象地域:和歌山市、海南市、橋本市、紀の川市、岩出市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市)</p> <p>また、申込率向上のため、健診会場において無料オプション検査(血管年齢測定)もあわせて実施する。</p> <p>なお、その他の地域については、市町村主催の集団健診に乗り入れが可能となっている。</p> <p>委託費、賃借料</p>		
事業名	3	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施	1,333,667円
実施概要	<p>協会けんぽの特定健診と自治体のがん検診を同日に受診できる集団健診を実施することで、特定健診の実施率向上を図る。</p> <p>①自治体主催の集団健診(国保の特定健診とがん検診)への乗り入れができない自治体(和歌山市、海南市、橋本市、紀の川市)において、それらの自治体と連携し、協会けんぽの特定健診とがん検診の集団健診を実施する。</p> <p>②自治体主催の集団健診への乗り入れができていない自治体のうち、申込の受付締切が早い自治体(みなべ町、上富田町、すさみ町)においては、それらの自治体と連携し、年度前に案内を送付する。</p> <p>委託費、賃借料、印刷製本費</p>		

事業名	4	被保険者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勧奨	2,695,000円
実施概要	主に前年度において生活習慣病予防健診未受診であった和歌山県内の被保険者個人を対象に、受診勧奨の案内を送付する。 委託費		
事業名	6	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	130,020円
実施概要	各医療機関に特定健診案内ポスターを配布し、掲示・広報することで特定健診の周知を図る。 院内掲示用の特定健診案内ポスターを作成し、和歌山県医師会を通じて、各医療機関へ配布する。 印刷製本費		
事業名	7	特定保健指導にかかるリーフレット等の作成	1,001,000円
実施概要	目標設定シートの作成。 特定保健指導案内用リーフレットの作成。 共同利用にかかる周知チラシの作成等。		
事業名	8	検診車における特定保健指導の遠隔面談分割実施	220,000円
実施概要	特定保健指導を実施できる体制がない健診機関において、集団健診当日に遠隔面談による特定保健指導体制をつくることにより、特定保健指導利用者の拡大を図る。 委託費		
事業名	10	未治療者に対する受診勧奨(二次勧奨:文書勧奨)	233,276円
実施概要	健診受診後、血圧・血糖・脂質検査の結果、要治療と判定されながら医療機関を受診していない治療放置者に対し、支部で毎月受診勧奨を実施する。 印刷製本費		
事業名	11	未治療者に対する受診勧奨(健診機関0次勧奨)	550,000円
実施概要	Ⅱ度高血圧以上の者に対し、医師または看護師が、健診当日に対面による受診勧奨を実施。その後、受診につながったか確認をとり、支部へ報告する。受診勧奨にかかる経費および受診につながった成果に対しインセンティブを付与する。 委託費		

事業名	12	糖尿病性腎症重症化予防対策(かかりつけ医と連携した保健指導の実施)	2,508円
実施概要	和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムに合わせて、ハイリスク者への保健指導勧奨を実施する。 高血糖で腎機能障害の疑いがある者への保健指導案内の送付 保健指導案内文書および申込書を送付 印刷製本費		
事業名	13	健康宣言事業所情報提供サポート事業	1,286,659円
実施概要	健康宣言事業所に対し、定期的に健康づくりに関する情報提供を行い、職場内の健康づくりに役立てていただくもの。 印刷製本費等		
事業名	14	健康宣言事業所健康づくりサポート事業	2,012,744円
実施概要	健康宣言事業所に対し、健康経営のサポートとして健康器具の貸し出しや健康講座を開き、従業員の健康づくりのサポートを実施する。 委託費、リース・レンタル費、備品費		
事業名	15	健康経営促進セミナーの実施	259,600円
実施概要	健康経営の啓発、および健康宣言登録事業所・健康経営優良法人認定制度の申請事業所の増加を目的とし、オンライン形式による健康経営に関するセミナー等を実施して、健康経営を実践するよう啓発を行う。 あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。 賃借料、委託費		
事業名	16	歯科健診とのコラボによる休日の特定保健指導の開催	303,076円
実施概要	特定保健指導の利用勧奨を実施しても、「希望しない」「自己管理する」といった回答が多くみられる。また、事業所へ案内した際に、業務上平日の実施が難しいという事業所も一定数ある状況。そのため、休日に特定保健指導を利用できる機会を設定するとともに、歯科健診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。また、糖尿病重症化予防と歯科予防との間に関連があることから、歯科健診を通じて歯周病予防につなげる。 委託費、賃借料、リース・レンタル費、印刷製本費		
事業名	17	リバウンド防止対策啓発事業	233,200円
実施概要	特定保健指導評価終了後、次年度の健診までに体重が増えてしまう人を減らすことを目的に、健診1～2か月前に体重増加の予防意識啓発のリーフレットを送付し、体重増加の防止及び減量を促す。 印刷製本費		

事業名	18	家庭血圧測定の普及啓発	493,900円
実施概要	<p>特定保健指導の対象者に関わる中で、血圧基準値を自己判断していたり、自宅での測定習慣があっても正しい方法で実施できていない場面に遭遇する。また専門医でない医療機関を受診した場合など、最新の知見を踏まえたガイドラインに沿って診療ができていないこともある。加入者の誤った知識を修正するとともに、健診機関並びに精密検査受診先となりうる医療機関にも情報提供が必要である。まずは加入者がそれらの情報を受動的に入手できる方法として、生活習慣病予防健診の結果送付時に、情報を記載したリーフレットを同封することを試みる。</p> <p>印刷製本費、委託費</p>		
事業名	19	わかやま健康フェア会場での特定保健指導の実施	96,162円
実施概要	<p>事業所へ案内した際に、業務上平日の実施が難しいという事業所も一定数ある状況のため、休日に特定保健指導を利用できる機会を設定する。また、令和7年度下期実施の和歌山市がん検診同日実施会場では、当日の特定保健指導が準備できていないため、この機会に特保受診勧奨を行い、実施率の向上を目指す。</p> <p>リース・レンタル費、印刷製本費</p>		